

深川養鶏農業協同組合（加工第二工場）

山口県長門市／食料品製造業

HP : <https://www.chosyudori.or.jp/>

事業概要

当組合は1948年に設立され、70年以上の歴史を重ねてまいりました。現在は地鶏「長州黒かしわ」、銘柄鶏「長州どり」の種鶏（親どり）の育成から、雛の販売、鶏肉の製造・加工・販売を一貫して行い、さらには「鶏卵せんべい」などの製菓事業も手掛けています。山口県は昔から鶏肉の消費量が全国的に見ても多いエリアです。肉の中でも安価で日々の食卓に欠かせない鶏肉を、安定して市場に供給するという意義深い仕事に携わっている誇りと責任を胸に、各職員が仕事に取り組んでいます。



事業者メッセージ

平成14年に設置した過熱蒸気焼成機について設備更新を検討していました。その中で、蒸気循環式に変更することで熱の再利用を図り、更に電気式にすることで事業場からのCO₂削減することとしました。企画当初より電気代は高騰したのですが、想定した蒸気ボイラの使用は半減させることが出来ました。今後は食品ロス対策も更に注力していきます。

省エネ効果

事業所全体のエネルギー使用量

745.8(kl/年)

省エネルギー量

125.2(kl/年)

削減コスト

1,201(万円/年)

事業所全体の省エネルギー率

16.7%

CO₂削減効果

332.5(t-CO₂/年)

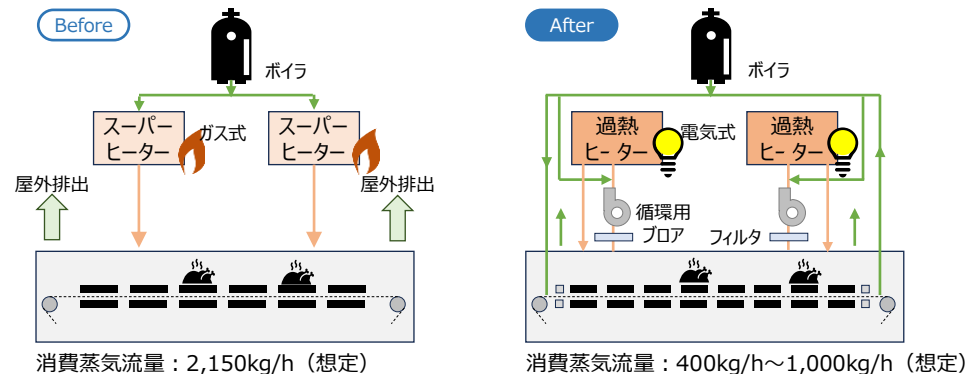
令和4年度事業

補助対象経費 6,970万円

補助金 5,227万円

※金額は申請時の額

省エネのPOINT



既存の過熱蒸気式焼成機は蒸気を循環せず屋外排出しており、熱量に関して大きくロスが発生していた。循環式に更新したことで、蒸気ボイラの使用量を約1/2に軽減することができた。

過熱蒸気式焼成機の特徴

- ・高温蒸気のため、加工時間の短縮が可能
- ・品温を上げる伝達速度が高く、効率的
- ・油脂の酸化、ビタミンの破壊を抑制
- ・ドリップが少なく、ジューシーな仕上がり

原料の良さを最大限に生かすことが可能



主な導入設備



過熱蒸気式焼成機
焼成時間：14分20秒
生産能力：約540kg/h